

2007年3月アンガージュマン予定

利用は会員となり、フリースペース・キックオフ講座・相談コーディネート・学習サポート等を選択下さい。
 詳細はTEL等でお問い合わせください。予約もどうぞ！ 印は閉室の印です

月(Mon)	火(Tue)	水(Wed)	木(Thu)	金(Fri)	土(Sat)	日(Sun)
			1 フリースペース あばうと...工房 春のピアス 学習サポート	2 フリースペース Pm1:00 バドミントン卓球 学習サポート	3 Pm1:00 クロス 学習サポート	4
5 フリースペース Am10:30PC講座 Pm1:30 ギター講座 学習サポート	6 フリースペース Pm2:30 PC基礎 学習サポート	7 フリースペース Am10:30 料理、わがままT Pm1:30 乗馬講座 学習サポート	8 フリースペース あばうと...工房 春のプレスレット 学習サポート	9 フリースペース Pm1:00 キックオフミーティング Pm2:00 DVD鑑賞 学習サポート	10 Pm1:00 ウィル 学習サポート	11 終日 山形物産市 (はるかぜ書店前)
12 フリースペース Am10:30PC講座 Pm1:00 キックオフミーティング Pm1:30 ギター講座 学習サポート	13 フリースペース Am花壇整備 Pm1:30 販売実践講座 書店経営の知識 学習サポート	14 フリースペース Am10:30 料理、わがままT Pm1:00 DVD鑑賞 学習サポート	15 フリースペース あばうと...工房 春のネックレス Pm2:00 ラッピング講座 学習サポート	16 フリースペース Pm1:00 カラオケ 学習サポート	17 Am10:00 未来(焚き火) たたら浜 学習サポート	18 フォーラム(別紙) Pm1:00 「働きたい・働けない何か がおかしい」 県サポートプラザ
19 フリースペース Am10:30PC講座 Pm1:30 ギター講座 学習サポート	20 フリースペース Pm2:30 PC基礎 Pm3:00 公務員講座 学習サポート	21 春分の日 学習サポート 行います	22 フリースペース 講演会(別紙) Pm5:30 「生きづらさ をかかえ、彷徨う 若者たちへ」 市総合福祉会館 学習お休み	23 フリースペース 社会見学 Am10:30 ソレイユの丘 学習サポート	24 臨時休業	25
26	27	28	29	30	31	4月1日

3/24(土)~4/1(日)まで、フリースペース・あばうとと学習サポート・ネクストは臨時休業

各種講座は通室者・キックオフ講座利用者は無料です。講座のみの利用は有料(1,050円)です。カラオケ(約500円)・料理ケーキ(約300円)・乗馬講座(1,050円)は実費個人負担です。毎週水曜日の昼食は利用者(フリースペース・キックオフ)無料です。利用者以外は有料200円。ボランティアの三浦さんにご協力頂いて、「みんなで昼食Time」「わがままTime」へご参加を。キックオフプロジェクトは月2回のミーティング、販売実践・公務員講座も月2回開催中です。SST(ソーシャルスキルトレーニング)対象は全年齢です。保護者の方々もご参加下さい。1回参加でも面白く行えます。自分のメンタルな力を育てます。

連絡先 代表: Tel/Fax 046-801-7881 e-mail: engagement@jcom.home.ne.jp
 アンガージュマンよこすかURL: <http://engagement.angelicsmile.com/>
 アンガージュマン・ブログ <http://www.doblog.com/weblog/myblog/57781>



アンガージュマン・よこすか

改めて「ひきこもり」の理解を進めて (為崎副委員長)

はるかぜ書店は「かながわボランタリー基金21」の助成金を受けて開店し早1年となります。アンガージュマンの若者達の社会参加の願いが前提で、その一助としての基金となります。1千万円弱の助成を受けてますが、実際は人件費・研修費・様々な経費を入れて2千万円以上かかり、弊法人の自助努力と商店街の方々の支援の賜物による運営です。

= 幅の広い就労のあり方を求めましょう (小林委員長) =

去る2月23日、就労支援ネットワーク研究委員会が正式に発足しました。既に報告いたしましたように、昨年9月に準備会を結成しております。同じように居場所や就労に取り組んでいる4団体、リロード・CLCA・たまりば・(株)K2と協働して、若者達と共に生きる社会環境づくりの一助としての就労を課題とします。研究会の様子をお伝えします。

国の助成がなくなっても自立できる方向を目指すことが必要。「(ひきこもりが)わからない」という差別がある。おかしく変でもないことを社会が理解する。(小林) 企業等のネットワークが重要。インターンシップの条件整備が必要である。(為崎) ヤングジョブスポット廃止。年13000人が利用、新たな支援団体が必要。(武藤) 居場所でも社会に出て行ける。あえて「就労」を特化しなくても出来る。(西野) 就労支援団体としては地域や企業への継続性が問われる。(和田)

磯子区の中でインターンシップとしてやっている。(岩本) 敬称略します 次年度以降、調査研究を基本に実際の連携を共有して、神奈川県内の就労支援ネットワーク構築を実践的に進めて行きます。3月18日(日)就労支援フォーラムを県と5団体で取り組みます。多くの方々の参加をお待ちしています。別紙参照下さい (滝田)

坂之上のひとりごと 弥生 代表: 小柳良

ラグビーシーズンも終わりプロ野球のオープン戦が始まるといよいよ春が来ますね。桜をめめて杯を傾ける季節到来です。東京は季節が感じられないという人もいますが桜の名所は多くあります。上野公園・北の丸公園・四谷の土手・飛鳥山等。なかでも谷中霊園は穴場で、昔近くに住んでいたものですからよく行きました。日暮里の駅をおりて中に入ると五重塔後に公園があり、そこで酒宴を開いていました。23区には珍しい駐在所(派出所ではなく)があり色々お世話になりました。谷中という詩人の諏訪優を思い出します。詩集「谷中草紙」やエッセイ集「東京風人日記」が印象的です。諏訪優は下町で季節を微細に感じ取る詩人でした。日記の帯には「夕陽が坂をころげ落ちる町でめぐる季節をいとおしむ」とあります。彼は田端の時代に取り残されたような、風が吹くとわさわさ鳴る竹林に囲まれたアパートの六畳に本に囲まれて住んでいました。晴れた静かな午後は「神様からの頂もの」と称してつれあいと散歩に出ます。知らない路地に入ってふと青畳のなんともいえない匂いを感じる。せまい土間で、今しも年老いた職人さんが長い針を畳に刺して縫い上げているところ。そしてガラス戸の張り紙に気付く。「仔猫あげます」又年末には同じ田端の住人だった芥川龍之介の「年末の1日」を必ず読み、冬の寒風と自死前の精神の低迷を感じます。外出の帰りに田端の駅から石段を登って夜桜を見る。八重桜が満開で、散った花びらが雪のように見える。夏の夜明けの冷気は「神様のくれた時間」。谷中生姜とそら豆でソバ焼酎。そう彼は酒も愛しました。余分な物が無い静かで慎ましい生活が美しくさえ感じられます。欠かせないのは湯上りのビールと美味しい肴と旨い酒ですかね。

泣き・・・喚く！お父さんたちの集まり？

10年前秋のある朝、何の前触れもなく子どもが学校行けなくなりました。これが不登校と引きこもりの始まりとは思いませんでした。不登校、いじめ問題など世間で騒がれていましたが、まさか我が子にこんなことがおきるとは。とにかくどう対応していいものやら。いくつもの病院、カウンセラーを訪ねる日々が続きましたが、解決策などあるわけも無くただ時間が過ぎてゆきます。

悩みを共有しようと妻に引きずられるようにあちこちの親の会に参加しましたが、参加者はお母さんばかりで何とお父さんの少ないことか。お母さんだけに問題意識が高いわけではない、悩んでいるお父さんは何処でこの苦しみを和らげているのだろう。お酒に酔って忘れて一時的なものだし。

そんな3年前、妻からこんなところがあるよと教えられたのがDAD。ここでした。悩めるお父さん達の集まり、月末日曜日の定例会。それぞれの現状、問題を話しあい男親の立場で共有する。子どもへの対応だけでなく家庭の父親としてどうしたらいいのか、話し合う。ようやく探していた場所を見つけられました。時にお酒を飲みながら、明日へ向けての活力を得ています。(岸：DAD 会員)



親の会ウィル・よこすか **もっと自由に柔らかな心を持って・・・**

今年の冬は例年のない暖冬とか。インフルエンザもまだの様で過ごしやすいですが、地球温暖化の事を考えると喜んでばかりはいられないのかもしれないかもしれません。花粉の季節も早く到来でマスク姿の人が多く傍目には風邪との区別がつかません。

そんな中の2月の例会の報告です。偶然にも代表、副代表共に欠席。運営委員にはWILL始まって以来の出来事でした。それまで、いかにお二人にお任せで頼りきりであったかと痛感！あらためて感謝した次第です。その分アンガージュマンから参加の吉本さんに助けて戴きました。結果8人の参加で女性ばかりの例会となりました。



いつもの様にお子さんやご家庭の様子のご報告、講演会に出席して感じた事、母娘関係のしがらみ 自分自身の育ちの中でも親に言いたい事を言えずに我慢しながら目立たない様に過ごした思い出などを多数の方が語られていました 予定より30分オーバーで話し終えました。女性ばかりだったからか、普段は母の顔でお子さんの心配ばかりで参加の方も、ご自分の子ども時代を振り返りながらお話しして下さった様に思いました。又違う顔を拝見して意外な面を見た様にも思います。先入観や決めつけをしてはいけないと人に接しているつもりでも、表面しか見ていないものだと感じました。

もしかしたら一番身近な家族の事も自分の色眼鏡のファクターを通してしか見ていないのかもしれない、子どもに対してもそうなのかもしれない。もっと自由に柔らかな心を持って自分以外の人に接していかなければいけないなどと、この日もいろいろな事を考えさせられた一日でした。(WILL 運営委員三澤)

もりだくさんでテンテコマイ・・・の一年になりそうです

2月は二日にわたって山形物産市を開催しました。縁あってどぶ板バザールに招かれたのですが、天気もよく盛況でした！どぶ板通りは若者だけの街ではない、という発見をした一日でした。今後も出来れば展開したいな、と思います。足を運んでくださった方に感謝いたします。ほとんど続けてうわまちでは梅祭りが開催されました。同時に、市制100周年記念に合わせ、うわまちオリジナルの風呂敷と各店舗の逸品を披露いたしました。はるかぜ書店でも風呂敷を取り扱っておりますので、是非ご覧になってください(売価¥1600)。会員、非会員の皆様のご協力のお蔭です。今後も30シ!(島田)

3月イベント情報 いずれも電話・FAX ご予約下さい

- その1 3月17日(土) 午前10時～火が消えるまで 「たき火」**
毎年、ボランティアグループ・未来では、ウィルよこすかと共同で「たき火」を開催しています。たき火をしながら、ただひたすら食べるだけ。ご参加下さい。
場 所 たたら浜(観音崎海岸 鴨居側 博物館となり 県駐車場前)
参加費 300円
- その2 3月18日(日)午後1時～5時就労支援NF「働きたい・働けない 何かがおかしい」**
アンガージュマンが神奈川県と共催でNF(ネットワークフォーラム)を開催いたします。「ひきこもりの就労支援を考える」をテーマに、生き辛さを抱えた若者と若年労働実態の現状を明らかにします。(かながわボランティア基金21の助成事業です)
1.場 所 神奈川県立青少年センター・サポートプラザ 講堂
2.テーマ ひきこもりの就労支援を考える「働きたい・働けない 何かがおかしい」～生きづらさを抱えた若者と若年労働実態の現状から～
3.講 演 1時20分～
「アンダークラス化するひきこもりの若者の構造的課題を問う」
講師 橋本健二氏(武蔵大学教授 社会学者)
「ひきこもりの若者とその家族の問題は何か？」
講師 長谷川俊雄氏(愛知県立大学助教授 ソーシャルワーカー)
4.ネットワーク紹介 2時50分～
リロード・CLCA・たまりば・K2インターナショナル
5.シンポジウム 3時20分～
テーマ 「ひきこもりの若者の未来と社会のあり方を展望する」
パネリスト ・橋本健二教授 ・長谷川俊雄助教授
・小林正稔助教授(ネットワーク研究委員長 県立保健福祉大学助教授)
・上出香代子さん(県青少年サポート課)
・石原直之(はるかぜ書店)
コーディネーター 滝田衛(アンガージュマン・よこすか 事務局長)
6.参加費 無料 但し、資料代1,000円
- その3 3月22日(木)午後1～3時 学習サポート・ネクスト 第3回講師研修会**
第3回目のネクスト講師の集いです。お互いの交流と今年度の反省や次年度の展望と一緒に語り合ってください。軽食をご用意しますので、宜しく願いいたします。
場 所 アンガージュマン・よこすか フリースペース
- 3月22日(木)午後6～9時 講演会「生きづらさをかかえ、彷徨う若者たちへ」**
アンガージュマン・よこすかの3周年を記念して講演会を開催します。内容は、ひきこもり・薬物・自傷・暴力そして家族関係についての若者の現状をご講演いただきます。
講 師 ・水谷修氏(水谷青少年問題研究所 夜回り先生)
場 所 横須賀市総合福祉会館(京急汐入駅下車) 5階ホール
プログラム
1. アンガージュマン代表挨拶 ～6時15分
2. 講演 水谷修氏 6時15分～7時30分
3. 休憩 7時30分～7時40分
4. 対談 7時40分～8時30分
「子どもたちとどのように寄り添うのか」
水谷修氏 VS 滝田衛(アンガージュマン・よこすか)
受付で事前に質問・ご意見を取り、対談で取り上げます
資料代 1,000円(当日、受付で)